

「人」と「まち」をつなぐ

広報

# えびの

## 今月の掲載記事

- ◎いつまでもお元気で
- ◎CIVIC NEWS
- ◎まちのわだい
- ◎えびの気質「藤久保敦士さん」
- ◎うまかもん「夏野菜のてんぷら」



特集

コミュニティバスの  
実験運行を行います

2012 September vol.551

9



## 10月~12月の3か月間

## 4路線で実証実験運行

# コミュニティバスの 実験運行を行います

えびの市では、市民の「移動手段」を確保するため、平成25年度にコミュニティバスの運行を計画しています。10月から12月までの3か月間、コミュニティバスの運行の課題や問題点を明らかにするため、実証実験運行を行います。

### 切実な地域の移動手段

えびの市では、宮崎交通(株)の路線バスやJRの鉄道などの公共交通が運行されていますが、家用車の普及などにともない利用者は減少。今後の存続が懸念される状況となっています。

一方で、えびの市は県内でも高齢化が進行している状況にあり、今後、家用車を持たない高齢者などの移動手段として、公共交通の重要性は高まっています。

特に、市内を走るバスや鉄道などの公共交通は、国道221号の沿線に集まっていることから、市内には公共交通の路線が無い地域(交通空白地)が広がり、これらの地域における移動手段の確保が大きな課題となっています。

そのため、平成23年度(平成23年5月18日)に、市、九州運輸局、県、公共交通事業者、道路管理者、えびの警察

署等で構成する「えびの市地域公共交通確保維持協議会」を立ち上げました。その協議会で、えびの市の交通状況等の調査事業を行いました。

平成23年11月には、新たな交通手段への要望や課題を抽出することを目的に市民2500人を対象にアンケート調査を実施しました。アンケートの回答には、「新たな公共交通を導入して欲しい」、「車の運転が出来なくなったら利用すると思う」などたくさん意見ももらいました。また、地域の課題や実施施策の実現可能性等を把握することを目的に、区長、民生委員、市内で営業している路線バス、タクシー事業者(3社)にヒアリング調査を行いました。

各調査の結果、「交通空白地の点在」、「施設間の移動手段の不足」、「歩行困難者等の移動手段の不足」などえびの市の公共交通に関する問題点が浮き彫りとなりました。

### 「移動手段」を確保するために

平成24年3月27日、これまでに整理した地域の現況や各調査結果を踏まえ、これらの問題を解消するため、えびの市の公共交通に関する「えびの市地域公共交通総合計画」を策定しました。この計画に基づき10月から12月までの3か月間、コミュニティバスの実証実験運行を行います。コミュニティバスとは、交通空白地帯などで地域住民の移動手段を確保するために、自治



写真はイメージです。実際に運行する車両とは異なります

体などが運行するバスです。今回の実証実験運行は、運行の課題や問題点を明らかにするために行うものです。3か月間の実証実験運行の終了後は、継続しての運行は行いません。

### 実験運行は4つの路線

実証実験運行を行うのは、市立病院を起点としてえびの駅を経由し、市立病院に戻ってくる東部線と、大平地区、尾八重野地区、堀浦地区をそれぞれ起点とする3つの郊外線です。

東部線と郊外線は、どなたでも利用できます。東部線は、通常の民間バス路線と同じく、決められたバス停で決められた時間に乗降できます。

郊外線は、決められた路線の範囲と時間の中で、予約のあった場合のみ運行します(予約がないと走りません)。運賃は東部線、郊外線ともどこで乗降しても1回大人300円です。

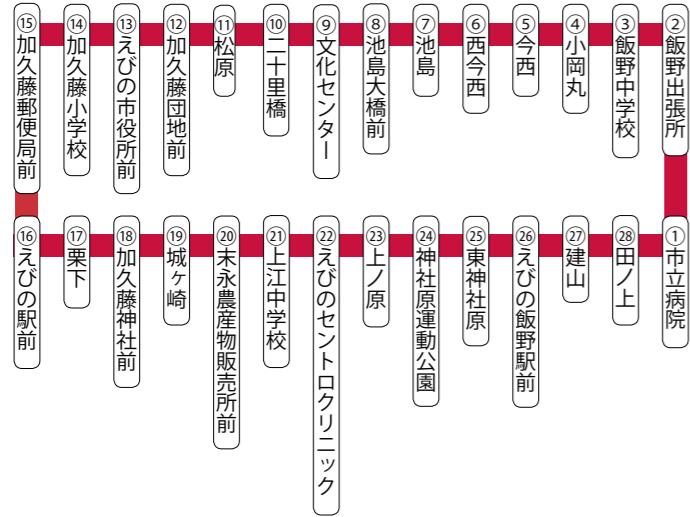
実証実験運行では、乗降者数の調査や、利用者アンケートをとるなどして、運行方法、運賃、運行回数、運行時間、ルート、バス停の位置などの問題点を抽出します。

実証実験終了後、今回の実証実験運行で問題となった点を、「えびの市地域公共交通確保維持協議会」で検討・検討します。その結果を踏まえ、平成25年度以降、段階的にコミュニティバスを本格導入し、将来的には市内全体へコミュニティバスを広げる予定です。

## 各路線バス停

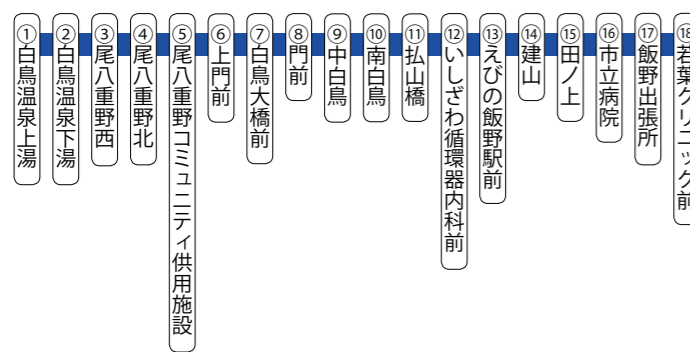
### 東部線

運行：月～金曜日（祝日は運休）



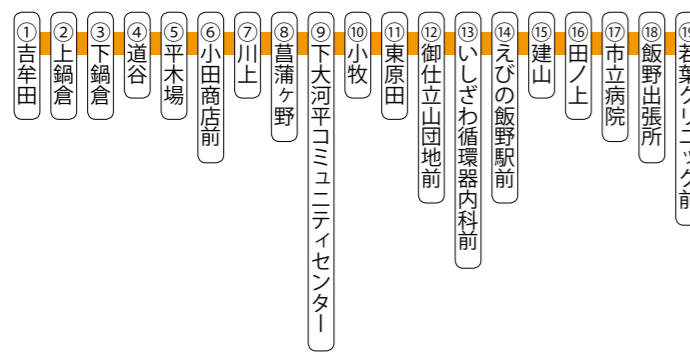
### 白鳥線

運行：毎週水曜日



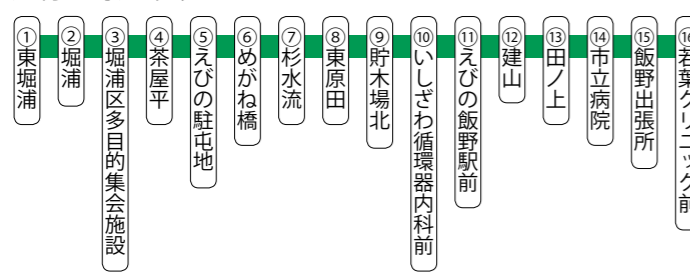
### 大河平線

運行：毎週火曜日

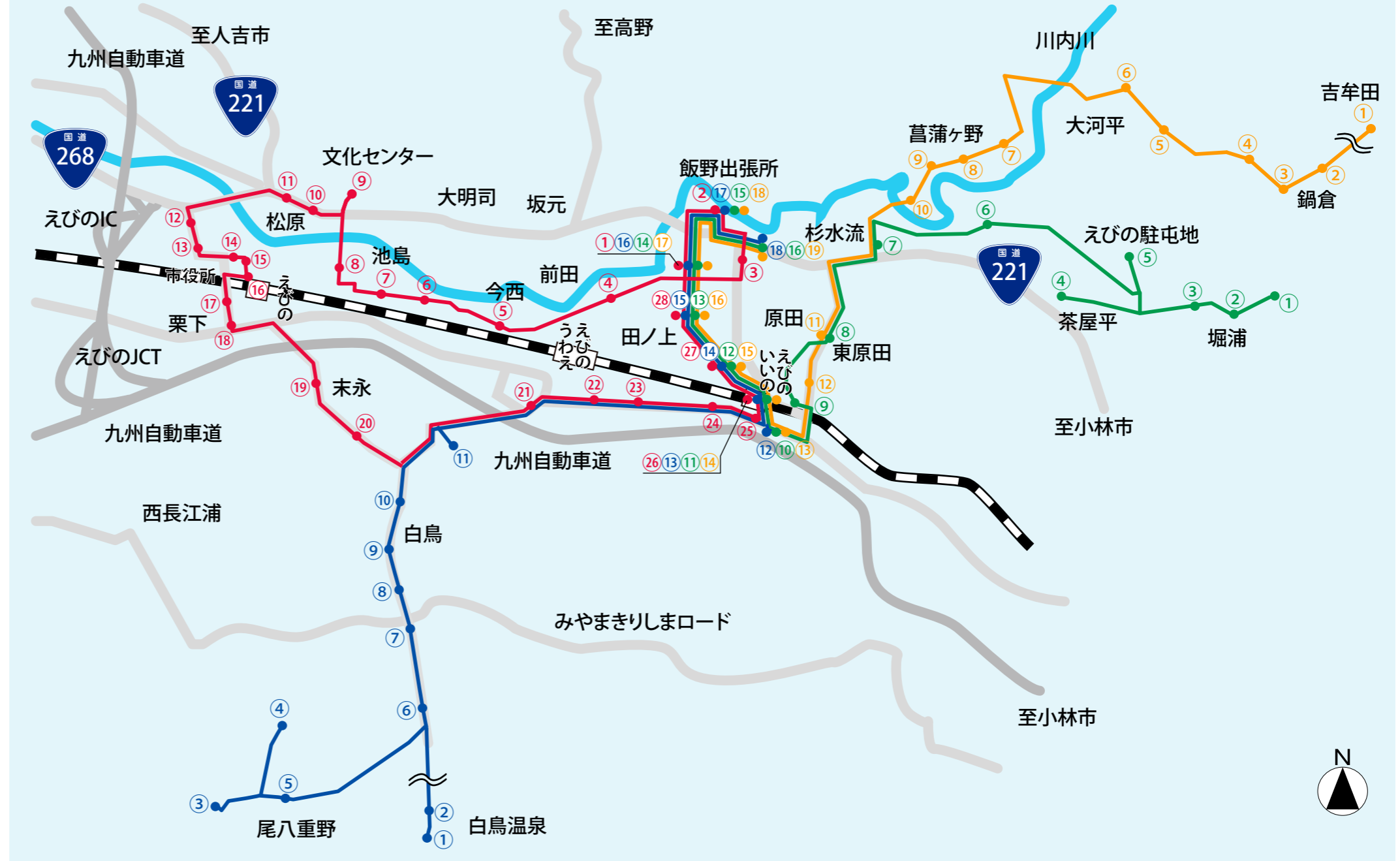


### 堀浦線

運行：毎週木曜日



## コミュニティバス実験路線図



### 東部線（1日10便）

■運行の目的  
公共交通の空白地帯の減少に向けて  
実証実験運行を行い、利用した人など  
からさまざまな意見をいただき、運賃  
ルート、運行回数、運行時間、バス停  
の位置などを検証します。

■運行の内容  
【運行期間】10月1日～12月28日まで  
【運行日】月～金曜日（祝日は運休）  
【車両】25人乗りバス  
【運賃】大人300円、小学生～高校生  
100円、乳幼児1人目無料。2人目  
から100円  
【運行区間】市立病院を起点として、え  
びの駅を経由し、市立病院に戻って  
くるルートです。

### 郊外線（1日3往復）

■運行の目的  
各地区の高齢者や車を運転できない  
人の「移動手段」の確保に向けて実証実  
験運行を行い、利用した人などからさ  
まざまな意見をいただき、運賃、ルー  
ト、運行回数、運行時間、バス停の位  
置などを検証します。  
郊外線は、決められた路線の範囲と  
時間の中で、予約のあった区間のみ運  
行します。（予約がないと走りません）  
■運行の内容  
【運行期間】10月2日～12月28日まで  
【運行区間】大河平地区・尾八重野地区・  
堀浦地区を起点とする区間

【運行日】大河平線（毎週火曜日のみ）  
白鳥線（毎週水曜日のみ）  
堀浦線（毎週木曜日のみ）  
【車両】10人乗りワゴン  
【運賃】大人300円、小学生～高校生  
100円、乳幼児1人目無料。2人目  
から100円  
※完全予約制（前日までに予約をお願  
いします）  
【予約先】宮交タクシー（株）小林営業所  
☎ 23・3121  
☎ 3511111（内線322）



堂園ハナノさん／100歳(坂元区)



山下キクエさん／104歳(南原田区)



北森義さん／100歳(東川北区)



濱邊ヒデさん／104歳(松原区)



川上静子さん／100歳(京町区)



下原フクエさん／100歳(南岡松区)



有吉フミさん／100歳(中島区)



園田キクさん／101歳(西上江区)



杉元スエキクさん／100歳(町区)

# 百歳以上の皆さんを訪問 いつまでもお元気で

9月17日の敬老の日を前に、村岡市長が100歳以上の皆さんを訪問。祝詞と敬老祝金を手渡し、長寿をお祝いしました。

えびの市内では、今年度中に満100歳に達する人は、男性2人、女性12人の計14人です。

えびの市在住で100歳以上の人は、合計で30人です(8月31日現在)。最高齢者は、女性が107歳の岡園シツさん(西川北区)、男性が100歳の北森義さん(東川北区)です。

市長から祝詞を受けた山下キクエさん(南原田区)の家族は「母は、104歳になりますが食事は、家族と同じものを毎日食べています。自分でできることも何でもやっています」と話していました。

市長は「今年は、吉都線も開業100周年を迎えます。吉都線開業よりも長く元気でいらっしやることは、素晴らしいことです。来年も元気をもらいにきますので、元気でいてください」とあいさつ。山下さんは、笑顔で応えていました。



# 人事行政の運営状況

地方公務員法の規定で、地方自治体は、人事行政をどのように運営しているかを公表することが義務付けられています。市職員の任免および職員数、給与、勤務時間、その他の勤務条件などについて、市民の皆さんにお知らせします。

## 1. 職員の任免および職員数に関する状況

①職員の採用・離職状況（平成23年度）

区分	一般行政職	税務職	医師・ 歯科医師職	薬剤師・ 医療技術職	看護・ 保健職	福祉職	企業職	技能労務職	その他の 教育職
採用者数	7人	1人	1人				1人		1人
離職者数	10人		2人		1人				1人

②職員数の推移状況（各年4月1日現在）

（単位：人）

区分	職員数	対前年増減数									
		H 20	H 21	H 22	H 23	H 24					
一般行政部門	議会	5	5	5	5	5	-1				
	総務	81	75	71	68	72	-7	-6	-4	-3	+4
	税務	22	19	19	18	17	+2	-3		-1	-1
	民生	22	23	21	22	21	-11	+1	-2	+1	-1
	衛生	28	27	26	23	22	+2	-1	-1	-3	-1
	農林水産	41	38	37	37	36	-2	-3	-1		-1
	商工	5	5	5	5	6					+1
	土木	22	25	22	22	23	-1	+3	-3		+1
	小計	226	217	206	200	202	-18	-9	-11	-6	+2
特別行政部門	教育	26	25	24	25	24		-1	-1	+1	-1
	小計	26	25	24	25	24		-1	-1	+1	-1
公営企業等 会計部門	水道	9	9	9	9	9					
	病院	41	41	39	40	39	-1		-2	+1	-1
	その他	25	25	25	26	24	+4			+1	-2
	小計	75	75	73	75	72	+3		-2	+2	-3
合計	327	317	303	300	298	-15	-10	-14	-3	-2	

## 2. 職員の給与の状況

①職員給与費の状況（平成24年度普通会計当初予算）

職員数（A）	給与費				1人当たり給与費 （B/A）
	給料	職員手当	期末・勤勉手当	合計（B）	
226人	885,099千円	95,381千円	316,742千円	1,297,222千円	5,740千円

（注）1. 市長、副市長および教育長は除きます。 2. 職員手当には、退職手当は含まれません。

②職員の初任給の状況（平成24年4月1日現在）

区分	えびの市	国	
一般行政職	大学卒	172,200円	172,200円
	高校卒	140,100円	140,100円

③職員の平均年齢、平均給料月額状況（平成24年4月1日現在）

区分	平均年齢	平均給料月額	
一般行政職	大学卒	42.8歳	320,400円
	高校卒	42.5歳	321,100円
技能労務職	高校卒	48.3歳	359,400円

④一般行政職職員の級別職員数の状況（平成24年4月1日現在）

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級
標準的な 職務内容	主事・主事補 技師・技師補	主事 技師	主任主事 主任技師	係長 主査	課長補佐	課長
職員数	14人	15人	45人	84人	43人	15人
構成比	6.5%	6.9%	20.8%	38.9%	20.0%	6.9%

（注）標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職名です。

⑤主な職員手当の状況（平成24年4月1日現在）

手当名	えびの市	国															
扶養手当 （月額）	配偶者 13,000円 扶養親族1人につき 6,500円 扶養親族（配偶者無） 1人目のみ 11,000円 特定期間加算 （満16歳～満22歳） 1人につき 5,000円	本市と同じ															
住居手当 （月額）	借家・借間（最高限度額：27,000円） ・家賃12,001円以上23,000円以下 家賃額 - 12,000円を支給 ・家賃23,001円以上 （家賃額 - 23,000円）× 1/2 + 11,000円を支給	本市と同じ															
通勤手当 （月額）	交通機関利用者 支給限度額 55,000円 交通用具利用者 使用距離に応じて 3,500円～24,500円	使用距離に 応じて 2,000円～ 24,500円															
期末勤勉 手当	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>期末手当</th> <th>勤勉手当</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6月期</td> <td>1.225月</td> <td>0.675月</td> </tr> <tr> <td>12月期</td> <td>1.375月</td> <td>0.675月</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2.6月</td> <td>1.35月</td> </tr> </tbody> </table> （加算措置） 職制上の段階等による加算措置あり		期末手当	勤勉手当	6月期	1.225月	0.675月	12月期	1.375月	0.675月	計	2.6月	1.35月	本市と同じ			
	期末手当	勤勉手当															
6月期	1.225月	0.675月															
12月期	1.375月	0.675月															
計	2.6月	1.35月															
退職手当	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>自己都合</th> <th>勤奨・定年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>勤続20年</td> <td>23.50月分</td> <td>30.55月分</td> </tr> <tr> <td>勤続25年</td> <td>33.50月分</td> <td>41.34月分</td> </tr> <tr> <td>勤続35年</td> <td>47.50月分</td> <td>59.28月分</td> </tr> <tr> <td>最高限度</td> <td>59.28月分</td> <td>59.28月分</td> </tr> </tbody> </table> （その他の加算措置） 定年前早期退職特別加算措置 2～20%加算		自己都合	勤奨・定年	勤続20年	23.50月分	30.55月分	勤続25年	33.50月分	41.34月分	勤続35年	47.50月分	59.28月分	最高限度	59.28月分	59.28月分	本市と同じ
	自己都合	勤奨・定年															
勤続20年	23.50月分	30.55月分															
勤続25年	33.50月分	41.34月分															
勤続35年	47.50月分	59.28月分															
最高限度	59.28月分	59.28月分															

⑥特別職の給料等の状況（平成24年4月1日現在）

区分	給料等月額	期末手当支給割合	
給料	市長	570,500円	6月期 1.45月 12月期 1.50月 計 2.95月
	副市長	526,500円	
報酬	議長	357,000円	
	副議長	315,000円	
	議員	304,000円	

（注）市長の給料は、特例条例により給料月額の30%を減額した額です。

## 3. 職員の勤務時間その他の勤務条件の状況

①勤務時間等の状況

勤務時間の割り振り			
始業時間	終業時間	休憩時間	週休日
午前8時30分	午後5時15分	正午～午後1時	土・日曜日

国民の祝日と年末年始の期間（12月29日～翌年1月3日まで）は、休日として勤務を要しないことになっています。

②休暇等の状況

職員の休暇には、年次有給休暇、病気休暇、特別休暇、介護休暇、組合休暇があります。

## 4. 職員の分限および懲戒処分の状況

①分限処分の状況（平成23年度）

区分	免職	降任	休職
分限	0人	0人	2人

②懲戒処分の状況（平成23年度）

区分	免職	停職	減給	戒告
懲戒	1人	0人	0人	0人

## 5. 職員の服務の状況

職員には、地方公務員法第30条に「全体の奉仕者として公共の利益のために勤務し、かつ、職務の遂行にあたっては、全力を挙げてこれに専念しなければならない」と、服務の根本基準が定められています。職員は、これらの法令および服務規程などを遵守し、職務を遂行しています。

## 6. 職員の研修および勤務成績の評定の状況

市では、行政課題解決と質のよい行政サービスを提供するための職員研修を実施しています。平成23年度では、派遣研修を126人、市単独研修を202人が受講しています。

## 7. 職員の福祉および利益の保護の状況

①厚生福利制度

職員は、職員またはその被扶養者の病気・負傷・出産・死亡・災害等に関して適切な給付を行うための相互救済を目的とする共済制度（宮崎県市町村職員共済組合）に加入しています。また、互助組織である職員厚生会による体育レクリエーション事業や生涯学習推進事業などを通じて職員相互の親睦を図り、健康で明るい職場づくりに努めています。

②公務災害補償制度

職員が、公務上または公務のための通勤途上に、負傷・疾病・死亡等の災害を受けた場合、地方公務員災害補償基金より一定の補償が行われます。

③利益保護制度

職員は、地方公務員法の定めで、給与・勤務時間その他の勤務条件に関し、公平委員会に対して地方公共団体の当局により適当な措置がとられるべきことを要求できます。また、懲戒処分など、自己に不利益な処分を受けた場合、公平委員会に対して不服申立てを行うことができます。

## ■公平委員会の業務の状況報告

①勤務条件に関する措置の要求の状況

平成23年度に、措置の要求はありませんでした。

②不利益処分に関する不服申立ての状況

平成23年度に、不服申立てはありませんでした。

## ■お問い合わせ先

市総務課人事係

☎ 35 - 1111（内線312・315）

※詳しい内容は、市公式ホームページでも、ご覧になれます。

〈アドレス〉 <http://www.city.ebino.lg.jp/>

# CIVIC NEWS

市政ニュース

## 和牛能力共進会でえびの市の牛が県代表に決定 2頭が和牛のオリンピックへ

8月23日、27日、小林地域家畜市場で、第10回全国和牛能力共進会宮崎県代表牛選考会が行われ、坂元幸保さん、一貴さん親子（松原区）の牛2頭が宮崎県の代表牛に決定しました。えびの市の牛が県代表に選ばれ、かつ、親子で



の代表決定は初めてです。全国和牛能力共進会は、5年に1度行われます。和牛のオリンピックと呼ばれる、和牛の改良の成果や肉質を競う大会です。宮崎大会では、県内各地から合計164頭（出品区分第2区から第9区）が出品され、厳正な審査の結果、28頭が宮崎県代表牛に選出されました。このうち出品区分第7区で坂元一貴さんの牛が、第5区で坂元幸保さんの牛が選出されました。坂元さん親子の牛は、ほかの代表牛と共に、今年10月、長崎県で行われる全国大会に挑み、日本一を目指します。代表牛の決定を受け、坂元一貴さ

んは、「一人でこの賞をとろうと思っても取れるのではありません。家族そして仲間のお陰です。全国大会では県代表として恥じないようがんばってきます」、坂元幸保さんは、「県代表になれたのは、えびの市民一丸となった防疫作業で口蹄疫被害を最小限に抑えたたまものです。全国大会では、えびの市にはこんなすごい牛がいるのだとアピールしていきたいです」と全国大会へ向けての抱負を話していました。



坂元幸保さんとふみえ号

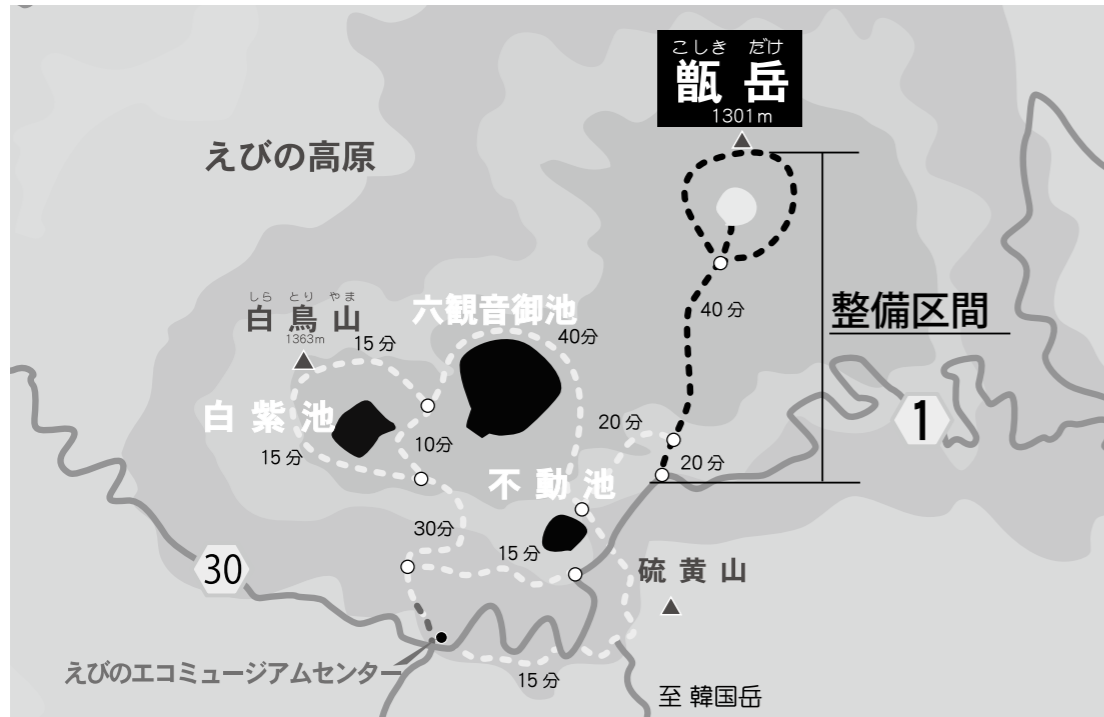
**共進会に向けて並々ならぬ努力**  
坂元さん親子は、牛の体調管理を行うため、引き運動を毎日朝夕行っています。さらに毛づやを出すための水洗い、拭き上げ、マッサージを入念に行っていました。共進会での牛の立ち姿を良く見せるため、牛の立たせ方の調教も毎日行ってきました。今回の県代表決定は、その成果が認められたものです。



坂元一貴さんともえ号

☎ 市畜産農林課畜産振興室  
35-11111（内線222）

## えびの高原の新たな魅力に 甑岳の登山道を改善整備



甑岳周辺案内図

市では、より多くの観光客にえびの高原に来てもらうため、甑岳登山道を整備しました。

新燃岳の噴火で登山客に人気の韓国岳などが入山規制で登れなくなりました。このため、えびの高原を訪れる観光客が激減していたことから、新たな魅力開発のために整備したものです。※韓国岳の登山規制は7月15日に解除されています。

これまでも甑岳には登山することはできましたが、草や木が茂り、登りにくい状態でした。そこで市では、環境省や宮崎県と協議を行い、市が登山道を管理することとなっ



登山道途中にある案内図

たものです。

整備した登山道には、新たに案内図を設置したほか、道に迷わないように、要所に案内板を立てています。

甑岳の山頂では、貴重な植物が踏み荒らされないよう、立ち入り禁止区域を設けたほか、山頂部を一周できる周回路を整備しました。

登山道の入り口から山頂までは、約1時間です。たどり着きます。

これから秋のシーズン、甑岳に登ってえびの高原の魅力を再発見してみませんか。

☎ 市観光商工課観光係  
35-11111（内線331）



要所に案内板を設置

# CIVIC NEWS

市政ニュース

## 市民の誇れる物産館へ 開業に向け進む準備

市では現在、来年4月の物産館オープンに向けて準備を進めています。

物産館は、市内で生産される農産物や特産品を展示・販売し、地域の魅力を発信する「情報発信機能」を備えた施設です。

7月、物産館に展示する農産物や特産品の出荷者を募集したところ、170人を超える応募がありました。

8月9日、JAえびの市本店で、えびの市特産品出荷



安全祈願祭であいさつをする市長

者協議会（以下、「出荷者協議会」）の設立総会が行われ、140人が参加。規約制定や役員を選任が行われました。9月3日には、物産館建設予定地（永山区）で物産館建設安全祈願祭が行われ、参加者65人が参加。物産館建設の安全を祈りました。

安全祈願祭で村岡市長は、「えびの市の新たな魅力・情報を発信する拠点・交通の要所としていきたい」とあいさつしました。

## 市内4団体と相互協定を締結 災害時の対応を強化

市では、災害発生時の支援協定を福祉事業者や商工会など4団体と締結しました。

8月29日、避難所に福祉用具等が必要な場合は、供給を要請することができる協定を株式会社ライフサポートと締結しました。

8月30日には、被災者に対する救援活動等で生活関連物資が必要ときは、えびの市商工会の会員の所有する生活関連物資の供給を要請することができる協定をえびの市商



調印後、握手をする市長とライフサポートの代表

工会と締結しました。

同日、災害時に一般の避難所生活において特別な配慮が必要な災害時要援護者を受け入れる福祉避難所の設置を要請することができる協定を社会福祉法人えびの明友会（あけぼの園）と社会福祉法人慈愛会（涼風園）と締結しました。調印式で市長は、「災害時に迅速な対応を取ることができます。これからも安心して暮らせる環境を整備していきたい」と話していました。

## 通学路危険箇所合同点検 児童生徒の安全を守る

市教育委員会では、児童生徒の通学の安全を確保するため、8月24日、各中学校区で通学路危険箇所合同点検を実施しました。点検に参加したのは、小林土木事務所、えびの警察署、市建設課、各小中学校の教諭ら約30人。各機関が集まって点検するのは今回が初めてです。

点検では、児童生徒が転落する恐れのある水路や道路標識のない通学路など約20か所を見て回りました。



危険箇所を点検する参加者

各学校では、通学路の安全確保を行っています。ガードレールや信号機の設置などは関係機関の協力がないとできません。この点検は、各関係機関と合同で行うことで、危険箇所の情報の共有、早急な改善を行うために実施したものです。

市教育委員会では、今回の点検の結果を踏まえ、建設課や土木事務所、警察と連携を図り、対応できるものから早急に改善を行ってきます。

## バリアフリー化と機能を充実 飯野出張所が移転

9月10日、飯野出張所が同敷地内の旧勤労青少年ホームに移転しました。

この移転は、飯野出張所の建屋や設備の老朽化が進み、耐震性に問題があったため、利用者の安全と出張所の機能の充実を図るため行われたものです。

旧勤労青少年ホームを出張所として利用するため、入口にスロープを設置。施設内は段差をなくするなどバリアフリー化してあります。



旧飯野出張所（写真左）、新飯野出張所（写真右）

また、体の不自由な人や幼児づれの人が利用しやすい多目的トイレを増設しました。新出張所内には、相談室が完備してあります。広く市民に開放しますのでご利用ください。施設の利用は、有料です。ただし、減免措置があります。

☎ 飯野出張所  
33-1111



電気工事組合が高齢者宅を訪問  
**プロの技でボランティア**

9月7日、小林地区電気工事業協同組合と宮崎県西部電業協会の12人が、1人暮らしの高齢者の電気設備点検・電気の交換ボランティアを行いました。

このボランティアは、漏電等による感電事故や火災などを未然に防ぎ、安心して暮らしてもらうことを目的に毎年行っているものです。

今年も、飯野地区の高齢者宅4件と災害時に避難所となる体育館など6か所で点検を行いました。



吉都線 100 周年を記念して  
**木製ベンチ7基を寄贈**

9月6日、新出水林業商の新出水孝造社長が市長を訪問し、ヒノキを使った手作りのベンチ7基を市に寄贈しました。

この寄贈は、新出水さんが吉都線100周年に併せ、何か貢献できないかと贈られたものです。寄贈されたベンチは、市内5駅の駅舎と市役所などに設置する予定です。

新出水さんは、「たくさんの人にゆったりとくつろいでもらえれば」と話していました。村岡市長は、「座り心地は最高です」と話していました。

## さわやかサマースクール **シカ革で思い出づくり**



8月18日、市文化センターで「シカ革の小物入れづくり教室」が行われました。教室には、親子連れら8人が参加しました。

教室では、えびの高原の野生シカは何を食べているのかなど、生態を教わり、その後、シカ革2枚

を使い、シカ革のひもでつなぎ合わせ小物入れを作りました。参加者は、器用な手つきで小物入れを作っていました。

ある参加者は、「手軽に作れて、とても楽しかったです」と話していました。

8月26日、西長江浦の南方神社などを会場に「大太鼓踊」が行われました。地区の全戸で結成した大太鼓踊り保存会の20人が踊りを披露しました。

大太鼓踊は、通称「ウバッチョ（大ばち）踊り」ともい



西長江浦の南方神社で大太鼓踊

## 勇壮な踊りで五穀豊穡

400年以上の歴史があります。踊り手は、直径120センチもある大太鼓をかつぎ鉦や太鼓と「ヤードッコイ」のかけ声に合わせて勇壮に舞い踊ります。

訪れた多くの人は、勇壮で力強い踊りを楽しんでいました。



里中満知子講演会

## 古事記の魅力を伝える

9月2日、市文化センターで里中満知子講演会が行われました。講演会には、市民ら約500人が参加しました。

この講演会は、古事記編さん1300周年を記念して宮崎県主催で行われたものです。

講師には、漫画家の里中満知子さんが招かれました。里中さんは「歴史を楽しむ私にとつての古事記」の演題で、独自の解釈を交え、古事記は編さんした当時の人々の価値観を反映して読むとおもしろいと話していました。



市民大学公開講座

## 古墳時代の歴史に触れる

8月18日、市歴史民俗資料館で市民大学公開講座「島内地下式横穴墓群から見えるえびの市の古墳時代」が行われました。講座には、市民大学受講生ら28人が参加しました。

この講座は、島内の出土品の歴史的価値を多くのの人に知ってもらおうと行われたものです。

参加者は、横穴墓群から出土した出土品をまじかに見ながら、市社会教育課文化係職員の説明を受け、えびの市の歴史を学んでいました。





えびの気質  
The scene  
グリーンパークえびの  
藤久保敦士さん

### 多くの人を花で迎えたい

「イベントなどで知り合ったえびのの人は、一見おとなしく見えますが、熱い人が多いですね」と話すのは、グリーンパークえびの（以下グリーンパーク）でイベントなどを手掛けている藤久保敦士さん（上上江区）です。グリーンパークは、南九州コカ・コーラボトリング(株)の工場を併設した公園工場です。藤久保さんは、現在、公園や見学施設の管理や工場見学ガイドの指導などグリーンパークの運営に携わっています。グリーンパークでは、市や観光協会、ボランティアと共に、春・秋の観光祭など、さまざまなイベントを行っています。工場と観光祭とは結びつかないように思えますが、「工場を建てて終わりではなく、地域とともに会社（工場）も発展していくことを目指している」とのこと。

藤久保さんは、宮崎市出身。えびの市に赴任するまでは、大分の工場で電気機械の仕事に携わり、接客とは無縁でした。「人と接することが好き」という藤久保さん。会社内の試験を受け、広報部署への転属が決まりました。広報部署での最初の赴任先は、熊本本社。そこで1年間、グリーンパークのオープン準備を行い、平成18年のオープン前に、えびのにやってきました。「なんてのどかなところなんだ」が最初の印象だったそうです。

オープン当初は、グリーンパークの認知度

が低く、「どうすれば多くの人に知ってもらえるか悩んだ」といいます。そこで、「地域や県内外の人を花で迎えたい」と花の景観づくりを始めました。「敷地の花壇では、市民の方に植栽や維持管理をしてもらっています。工場の増設予定地には、夏はひまわり、秋はコスモス、春は、菜の花を植えています。今では多くの人に楽しんでもらっています」

### イベントを通じて学んだこと

「夏には、小中学生を対象にカヌー教室や水



## 地域と共に発展を目指したい



**Profile**  
ふじくぼ・あつし / 34歳 / 上上江区 / 趣味：子どもの野球応援（休みの日は送迎、応援に励んでいます）

生生物の調査などサマースクールを行っています。講師は、地元の人にお願ひしています。子どもたちに、自然豊かな場所でのいろいろなことを体験してもらえうれしいです」

イベントの運営には苦労もあります。「地域の人とイベントを作っていく過程が大事だ」と思っています。運営会議では、熱くなるあまり意見が衝突することもありますが、しかし、話を続けるうちに一致点を見いだし一歩前進できます。私も勉強になります」

藤久保さんがえびのに赴任して6年。以前よりもイベントが地域に溶け込んでいくことを感じています。「以前の私は、すべてのことを自分一人でやらなきゃいけないという気持ちがありました。今は違います。地域の人と交わることで信頼関係が生まれ、いろいろなことをお任せできるようになりました」

「仕事やイベントの運営など、すごく頼りになる先輩です」と信頼を寄せているのは、同僚の相馬さんです。

これからも地域に愛される工場を作りたいという藤久保さん「10月中旬には、コスモスが見頃になります。ぜひ、グリーンパークえびのに遊びに来てください」



# うまかまん

今 月紹介するのは、地域  
支え合い事業で南岡松  
地域支え合い事業ボランティア  
の皆さんが作った「夏野菜  
のてんぷら」です。

南岡松地域支え合い事業で  
は、食材は、ボランティアの  
皆さんが持ち寄った無農薬で  
新鮮なものを使っています。  
てんぷらの味付けは、塩分を  
控え、隠し味に、ニンニクと  
ショウガを使っています。ニ  
ンニクとショウガを使うこと  
で夏バテの予防効果を期待し  
ています。

てんぷらは、どこの家庭で  
も手軽に作る事ができます。  
旬の野菜やお好みの具材を使  
うことでバリエーション豊か  
になります。家庭で自分のオ  
リジナルのてんぷらを作って  
みてはいかがでしょうか。



ハレの日に欠かせない料理。家庭ごとに多彩な味わい。

## 今月の一品 夏野菜のてんぷら

Recipe レシピ

### 【材料】

ナス 1本、カボチャ 1/8個、小麦粉 大さじ2  
衣: 小麦粉1.5カップ、卵1個、冷水 200ml、ニンニク 適宜、ショウガ 適宜、塩 適宜、揚げ油 適量

### 【作り方】

- ①ナスはヘタを切り落として縦4つ切り、長い場合はさらに横斜め半分切る。カボチャは種を取り、6〜7ミリ厚さに切る。
- ②衣を合わせる。ボウルに卵と冷水を混ぜ合わせ、小麦粉を加え、ニンニク、ショウガ、塩を入れ、軽く混ぜ合わせる。混ぜ過ぎると揚げた時、サクッと上がりにくくなります。
- ③野菜に薄く小麦粉をからめ、衣を通して、少し低めの160度位の揚げ油にカボチャ入れ揚げる。
- ④カボチャが上がったらナスを揚げる。



【紹介者】南岡松ボランティアのみなさん

## 目指せ！世界ジオパーク認定



環霧島会議とは、霧島山を取り巻く鹿児島・宮崎両県の5市2町で構成され、県境を越えて連携し地域活性化を図ります。

## 環霧情報



# 環霧島 探訪

今月は、小林市の湧水を守る活動を続ける湧水インストラクター清水洋一さんを紹介いたします。

### ◇水の守り人

清水洋一さん65歳は、湧水インストラクターとして小林市内の湧水地を調査し、その保全に努めています。「私の苗字は「清水」。だから水を調べることに使命感のようなものを感じたんです」と笑顔でその思いを語ってくれました。

調査を始めたのは50歳のとき。10年かけて旧小林市内の70数箇所の湧水地を発見しました。見つからずに、ただ山の中を歩き続けたこともしばしば。しかし、「特に苦労したとかはありません。私の活動が水を守ることに貢献できれば」と思いを話します。

しかし、観察を続けてこれまで、湧水地から湧き出す水は減少傾向にあるそうです。一昨年の夏、清水さんが定

期的に観測していたとある湧水地のこと。そこは、夏になると水が湧き出す場所でした。しかし、その気配がありません。結局水が出ることはありませんでした。前年の少ない降水量が原因とも考えられましたが、それは分かりませんでした。同じ現象が起きた湧水地がもう一か所あり、湧水が限りある資源であることを痛感した出来事でした。（※現在は湧き出しています）

昨年7月、小林市は水資源保全条例を制定。清水さんは「湧水は小林市の大きな魅力。保全には、ありのままの自然を残すことが大切です。条例を契機に、水が限りある資源であることを知ってもらえれば」と話します。

現在は、小中学校から講師として招かれ、子どもたちに語りかける活動も行う清水さん。その温かい眼差しは、これからも小林市の湧水を見守り続けます。



清水洋一さん

## 家庭教育学級通信

上江中学校家庭教育学級を紹介します。

上江中学校家庭教育学級は、全PTA31戸で構成されています。できるだけ多くの皆さんが楽しく参加できることをモットーに、年間10回程度の教室の開設を行っています。

上江小学校家庭教育学級と合同で開催している教室は、小中学校保護者の交流の場・情報交換の場ともなっています。

教室には毎回、約半数の皆さんが参加しています。中学生の親として子育ての勉強やレクリエーション・スポーツ、調理実習・製作活動

などさまざまな活動を行い、親子や親同士のコミュニケーションの場となっています。

今年、学級長をさせてもらい、今まであまり参加していなかったことを残念に思いました。「こんなに、親としてやれていなかったんだ」と反省したり、日頃のストレス解消に学級の皆さんとおしゃべりをしたりしています。教室では、多くの人に参加をもらい、自分も一緒に努力しています。

今後も、上江小・中学校の家庭教育学級が、盛んになりますようにと願って、まだまだ頑張っていきます。



先輩お母さんに指導を受けながら旬料理に挑戦



上江中学校家庭教育学級長 黒木重美さん

### 全国地域安全運動実施



全国地域安全運動が10月11日(木)から10月20日(土)までの10日間、実施されます。

【運動の重点】

- ・自転車盗、万引きの防止
- ・子どもと女性、高齢者の犯罪被害防止

■夕暮れ時の「早めの点灯」・「ピカピカ運動」

【運動の期間】9月21日(金)～1月31日(木)

【推進事項】

- ・ライトの「早めの点灯」・「こまめな切り替え」を行いましょ。
- ・反射材用品の活用と明るい色の服装の着用を徹底しましょ。

8月の交通事故発生状況	人身	8件	本年8月末	70件
	物件	32件	本年8月末	225件

### 登山には十分な準備を



山にはさまざまな危険が潜んでいます。登山をする際は、以下の点に気を付けましょ。

- 日没までには登山口に到着できるよう、遅くとも15時頃までには下山を始めましょ。
- 登山の2～3日前からの天気予報に注意しましょ。
- 事前に登るルートを確認しておきましょ。
- 一人では登らず、複数で登りましょ。
- 当日は、家族や知り合いに行き先を連絡しておきましょ。

※登りなれている場所でも、降灰等で地形などが変化していることがあります。十分に準備をして秋の行楽を楽しんでください。

8月の活動状況 【えびの消防署管内】	火災	0件	年計	6件
	救急	76件	年計	552件

### 自公連だより

※自公連…「自治公民館連絡協議会」の略称



湯園自治公民館で行った溝さらえ

### 安心安全な南昌明寺づくり 南昌明寺自治公民館

山王日枝神社のたもと南昌明寺区は、彼岸講を行う吉田温泉自治公民館と、田の神講を行う湯園自治公民館の2つの公民館があります。「溝さらえ」、「七夕道づくり」、「田植交流会」、「支え合い事業」など地域一体となって取り組み、みんな元気で笑いが絶えませんが、それぞれの公民館が歴史と個性のある活動を行っています。矢岳高原からの清水を引いて最高級の昌明寺米づくりにこだわり、

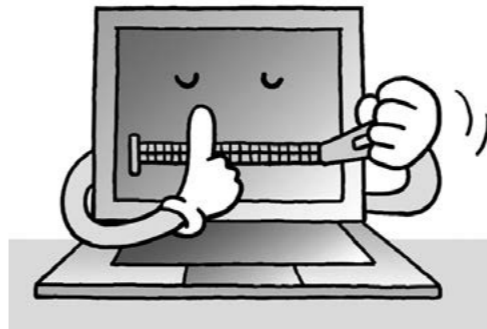
18年度から農地水環境保全活動に取り組んでいます。農道水路の保全向上活動や地域の環境美化活動も推進しています。今年、急峻な吉田温泉地区の土石流対応等の図上防災避難訓練を始め、地域の安全意識の向上に努めています。老人ホーム真幸園では、グラウンドゴルフに区内外の人が集い、鹿の湯・亀の湯温泉や鹿料理などの食材にこだわる隠れ湯旅館伊東



南昌明寺自治公民館長 若松秀一さん

には旅行者が絶えませんが、これからも個性を守り、地域みんなが「互いに顔の見える、健康で明るく、安心安全な南昌明寺づくり」を推進していきます。よか1眺めと吉田温泉、おいしい南昌明寺に「おじゃつたもんせー」

### くらしのメモ



### フィルタリングで子どもを守る

インターネットを利用する際、ユーザーの意思に基づき有害な情報をブロックする機能を「フィルタリング」といいます。しかし、完全なフィルタリング機能を手に入れることは不可能で、あくまでも「予防策」として考えなくてはなりません。

**子どもの自由と親の心配**  
子どもがインターネットを利用する場合、「フィルタリング」が欠かせません。「フィルタリ

ング」は、有害ページに誘導されることを最小限に抑えることができます。

子どもは、有害ページが引き起こす問題の深刻さを知らないということがあります。親は、インターネットに自由と危険が同居していることを子どもに教えずにはなりません。

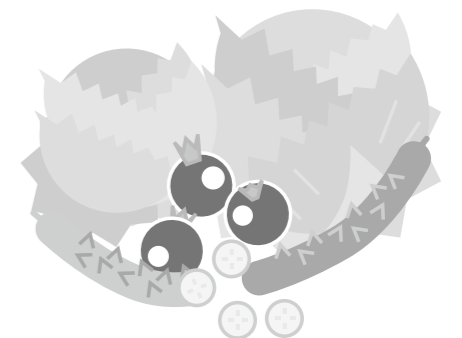
**大人の使い方と子どもの使い方**  
フィルタリングの設定は親の責務で、解除して発生したトラブル

は親が責任を取らなければなりません。ルールを作って携帯電話を使っている家庭のほうが作っていない家庭に比べると圧倒的にトラブルは少ないことが全国調査で示されています。子どもには、使い始めにきちんとした約束をし、守らせることが大切です。

ネットのことは子どものほうが詳しいからと、逃げていませんか。大人はインターネットの使い方や学び、子どもにきちんと伝える義務があります。

文：市民課生活環境係

### いきいき!健康



### 毎日の野菜は足りていますか??

私たちに必要な野菜の量は「1日350g以上」とされています。しかし、国の調査によると平均290gしか取れておらず、野菜不足の傾向となっています。

野菜(海藻、きのこ含む)には、食物繊維、ビタミン、ミネラルが豊富に含まれているので、毎日食べることで、血糖上昇の抑制、高血圧、高コレステロールの予防、便秘改善などの働きが期待できます。一回の食事で350gの野菜

野菜は1日350グラム食べましょ

料理例(※重量はあくまでも1例です)

具だくさんのみそ汁	75g	野菜のサラダ	85g
冷やしトマト	100g	かぼちゃの煮物	100g
計360g目安			

を食べることは難しいものです。摂取量を増やすには

- ◎毎回の食事で1、2品の野菜料理を意識して食べる
- ◎主菜の付けあわせを増やす
- ◎具だくさんな汁物をとる

などの工夫が必要です。

また、野菜に含まれる栄養素は、時間が経つにつれ失われていきましょ。家庭菜園やえびの産の新鮮な野菜を食べて元気に過ごしましょ。

(平成24年度食生活改善普及運動)

文：中原栄士

# あの時、あのころ

あの時のえびの市を広報で振り返る



## 田の神さあおどり大会、25チーム700人が参加

**市** 民総出の統一した祭として定着を目指す、えびの市新ひむかづくり運動市民会議主催の第6回田の神さあおどり大会が8月22日、えびの駅前通りで開催されました。大会には、市内外から25チーム総勢700人が参加。太鼓と三味線が鳴り響く中、それぞれ工夫を凝らした服装や化粧で通りを練り歩き、訪れた約1500人の観客から盛んな拍手を受けていました。大会では、今回初めて、鹿児島市のヤマダ・モダンダンス研究所の振り付けによる「ザ・ジャズ田の神さあ」も披露されました。(平成4年9月掲載)



# BOOKS

図書館へ行く

## おすすめの1冊



**ぼくとおかあさん**  
宮本忠夫/作・絵  
(くもん出版)

**竹 徹底活用術**  
伊藤富士男/発行者  
(社) 農山漁村文化協会

こグマとお母さんのほほえましいお話です。お母さんクマは、いい子のこグマが大好き。でも、こグマはいい子の時ばかりじゃないみたいです。そんな時、おかあさんクマは、「いい子を産んだのよ」といってこグマがお腹にいた時の話を始めます。大人と子どもの絆をなげない会話の中に盛り込んだ、ぬくもりのある本です。

**生** 長期の竹は、1日に1メートル以上も伸びるといわれています。竹そのものには驚異の生長力、薬力、抗菌力といった農業や暮らしに役立つ宝物がたくさんつまっています。竹の枯らし方や竹パウダーを利用しての農業、暮らしの中での活用法、イベントなどで大人気の竹テントの作りなどが紹介されている1冊です。

- 【最近入ったおすすめ本】**
- 「ひなこまち」 畠中恵著 (新潮社)
  - 「自分超え」 松田文志著 (新潮社)
  - 「ケルベロスの肖像」 海堂尊著 宝島社
  - 「塩麴漬け梅干しらっきょう」(ブティック社)
  - 「烈しい生と美しい死を」 瀬戸内寂聴著 (新潮社)

## 市民図書館

☎35-0242 <http://www.e-tosho.com/ebino/index.html>

■開館時間 ■ 火曜日～土曜日/午前9時～午後7時 日曜日・祝日/午前9時～午後5時  
■休館日 ■ 毎週月曜日(祝日法に定める休日と重なった場合はその翌日)

- ◎イベント  
**33円で電池を作ろう**  
●とき:10月28日(日) 13:30～  
●ところ:市民図書館学習室  
●講師:南鶴吉照氏  
●参加料:無料 ※先着20人



◎10月のスケジュール

読書週間(10/27～11/9)	
1月	図書館休館日
3水	移動図書館車巡回① 13:20～15:35
6月	おはなし会 10:30～11:30 かたつみろかい 13:30～15:00
9火	移動図書館車巡回② 13:20～15:05
10水	図書館休館日
11木	ブックスタート(1歳児に絵本配布)
12金	移動図書館車巡回③ 13:20～15:35
13土	おはなし会 10:30～11:30
15月	図書館休館日 13:20～15:35
17水	移動図書館車巡回① 13:20～15:35
20土	おはなし会 10:30～11:30
22月	図書館休館日
23火	ドリームカー(子育て支援センター) 10:30～12:00
24水	移動図書館車巡回② 13:20～15:05
26金	喫茶「ふら〜っと」営業 9:45～11:00 移動図書館車巡回③ 13:20～15:35
27土	おはなし会 10:30～11:30
28日	ちょこっと講座 13:30～14:30
29月	図書館休館日
31水	図書館休館日(館内整理日) 移動図書館車巡回① 13:20～15:35

※おはなし会:乳幼児10:30～11:00、4歳以上11:00～  
※移動図書館巡回  
①尾八重野分校→飯野駅前地区体育館→飯野出張所  
②岡元小学校→市立病院→さくら苑  
③飯野地区公民館→警察署官舎→老人福祉センター

## 心の一首一句

あなたもつくってみませんか。

**詩**  
くつ  
もう捨てよう  
ゴミ袋に入れかけた「くつ」を  
思い留まって  
あと少し履くことにした  
「くつ」が  
ありがとう...と言った  
飯野麓区 ときよやすこ

**俳句**  
ふるさとに集う友垣いなし雲  
中島区 石坂伊佐郎  
選層同窓会に全国各地から同級生が  
ふるさとに集合しました。湧き立つ夏  
の雲ではなく、秋空に浮かぶ鯉雲がふ  
さわしい年齢になりました。(自註)

**短歌**  
戦場へ兵達の故郷の駅  
白木の箱で還りし戦友よ  
栗下区 長谷敏通  
「昔」今年で戦後67年の歳月が経つ。日  
本は国内外多くの戦死者、犠牲者を出  
した。特に沖繩戦、知覧特攻隊、基地  
資料館に残されている若人達の遺影と  
遺書。涙なくして見る事は出来ない。  
まして戦友を亡くされた作者の思いは  
言語に尽しがたいものであらう。戦争  
の悲惨さと平和の大切さを語り継いで  
行かなければならないと思ふ。戦争体  
験の心の叫びの詠である。(竹下妙子)

(短歌) 竹下妙子さん ☎37-3056 (俳句) 松山山文さん ☎33-4904 (詩) ポエム同好会(市田寛幸さん) ☎37-2528まで

## 困ったら一人で悩まず行政相談へ

10月15日(月)から21日(日)は、秋の行政相談週間です。毎日の暮らしの中で「苦情や困っていることがある」、「相談してみたが説明に納得がいけない」、「制度や仕組みがわからない」、「どこに相談していいかわからない」などありましたら、行政相談委員にお気軽に相談ください。

- 相談日＝10月3日(水)
  - 時間＝午前10時～午後3時
  - 場所＝市役所2階2-1会議室
  - 行政相談委員＝永田萌子・馬越協泰二
- ※行政相談委員は、総務大臣の委嘱を受け、無報酬で活動しています。
- 相談料＝無料(※秘密は堅く守られます)
  - その他＝相談は、総務省宮崎行政評価事務所でも受け付けています。全国どこからでも同じ番号でかけられる行政110番☎0570-090110もご利用ください。

**問市民課生活環境係**  
☎35-1111 (内線285・286)

## ビーズストラップとクラフトテープ がご作り講座参加者募集

市教育委員会では、地域における手芸・工芸・料理などさまざまな名人を講師に招き、地域名人講座を開催します。地域の匠の技や知識を学んでみませんか。多数の参加をお待ちしています。

- 日開催＝初回10月12日(金) ※全5回開催予定
- 時間＝午後1時30分～午後3時
- 会場＝上江地区公民館
- 講師＝外屋啓子氏
- 受講料＝無料(材料費については自己負担)



◎今月の表紙  
8月19日、飯野高校グラウンドで「夏季巡回ラジオ体操会」が行われました。体操会には、市民ら約1,800人が参加しました。この体操会は、NHKなどが夏休みに全国を回りながら開催しているもので体操会の模様は全国にラジオ中継されました。

●申込締切＝10月4日(木)  
**問・問市社会教育課(市文化センター内)**  
☎35-2268

## 雇用調整助成金などの支給要件が見直されます

雇用調整助成金とは、経済上の理由により、事業活動の縮小を余儀なくされた事業主が、雇用を維持するために休業等を実施した場合、休業手当などの事業主負担相当額の一定割合を助成する制度です。

- 【変更内容】平成24年10月1日から
- ①生産量要件が、前年同期と比べ10%以上の減少が必要となります。
  - ②1年間の支給限度日数が100日となります。
  - ③教育訓練費(事業所内訓練)が、1人1日当たり1,000円(中小企業は1,500円)となります。
- 詳しくは次の問い合わせ先へご相談ください。

**問宮崎県労働局職業対策課 助成金申請受付コーナー**  
☎0985-38-8824

## 高齢者クラブ会員募集

えびの市高齢者クラブ連合会では、クラブ会員を募集しています。仲間づくりを通し、生きがいや健康づくりを一緒にやってみませんか。

- 【対象者】おおむね60歳以上の人
- 【活動内容】スポーツ(グラウンドゴルフ、ゲートボールなど)、ボランティア(神社や公民館の清掃活動、子ども見守り活動など)、趣味・娯楽(カラオケ、舞踊、レクダンス、社交ダンス、生け花など)、レクリエーション(作品展、カラオケ、発表会、親睦旅行など)、生涯学習(講

## 今月の納税

**国民健康保険税 第3期**  
**後期高齢者医療保険料 第3期**

10月1日(月)までに納めましょう。

演会、座談会、専門家を交えた勉強会など)、世代間交流・伝承活動など

※活動内容は、各クラブによって異なります。  
【参加申込】地区の単位クラブに直接申し込みください。クラブや活動内等不明な点は、えびの市高齢者クラブ連合会事務局までお問い合わせください。

**問市長寿介護課高齢者係**  
☎35-1111 (内線268)  
市高齢者クラブ連合会事務局(市総合福祉センター内)  
☎35-2800

## 公売に参加したいときは

公売とは、国が差し押さえた財産を入札等の方法により売却する制度で、原則としてどなたでも参加することができます。

公売は、全国の国税局や税務署で行っており、官公庁オークションサイトを利用したインターネット公売も行っています。

公売の日時や公売財産の内容については、公売を実施する国税局や税務署の掲示板に掲示する公売広告に記載しています。国税庁のホームページ(<http://www.nta.go.jp>)でも情報を提供しています。

詳細については、最寄りの税務署にお問い合わせください。

**問小林税務署**  
☎23-3126 (※自動音声案内)

## 県・市町村の不動産合同公売会

県と県内市町村は、地方税の滞納処分により差し押さ

えた不動産の公売会を実施します。  
詳しい内容は、10月から県のホームページ(<http://www.pref.miyazaki.lg.jp/>)に掲載してありますので、ご覧ください。

- 公売会日＝11月9日(金)
- 時間＝午後1時～(会場：午後0時30分～)
- ※午後0時50分から入札の説明を行います。それまでに来場ください。
- 会場＝宮崎県庁7号館744号

**問県税務課**  
☎0985-26-7034  
小林県税・総務事務所  
☎23-3194

## 利用ください 無料公正証書遺言等相談

都城公証人役場では、相続・遺言・任意後見契約・尊厳死宣言・賃貸借契約・金銭貸付契約・離婚給付契約等の公正証作成に関する無料相談を実施します。

- 相談日＝10月1日(月)～7日(日)
- 時間＝午前9時～午後7時(昼休み時間を除く)
- ※6日、7日については、午前9時～正午
- ※1回の相談時間は30分程度
- 場所＝都城公証人役場  
〒885-025都城市前田町15街区10の1号  
(国道10号線沿い-宮崎進行方向左側)
- 相談料＝無料
- ※相談は無料ですが、プライバシー保護のため事前に予約が必要です。

**問都城公証人役場**  
☎0986-22-1804

**人口 20,855人(-20人)**

男性／ 9,742人(-13人) 女性／ 11,113人(-7人)  
転入／ 64人 転出／ 60人  
出生／ 15人 死亡／ 39人

**世帯数 9,066世帯(-1世帯)**

(平成24年9月1日現在)

9月に入り、朝晩、少し肌寒く感じるようになってきました。ようやく、暑い夏が終わったのかと感じる毎日です。過ごしやすくなったせいか、朝起きるとき、もう少しとつい2度寝をしてしまいそうになります。季節の変わり目です。体調管理には十分気を付けてください。(川野)

Editor's



## 「真幸」地名の由来

え

びのを含む西諸県地域の大部分を、むかし「真幸院」と呼んでいました。「真幸」という地名はいつ頃から、使われ始めたのでしょうか。

「日向国史」によれば、平安時代の朝廷の書物「延喜式」に「日向に真幸院あり」とあります。「真幸院」は官道に設置された伝達用早馬の駅で、「真幸」の意味は細長い地形に由来すると言われています。加久藤盆地の地形は東西に狭かったため、「真狭き土地」の意味で、「真幸」になり、「真幸」になったようです。

平安末期の永暦元年（一一一六〇年）から鎌倉時代には、「真幸」は、「真幸院」と呼ばれるようになりました。真幸院は、飯野・加久藤などで、当時、日下部氏が統治していました。

それに対して、福岡の大宰府が管理していた現在という西川北、島内、浦、柳水流地区を同じ読み方で「馬関」と呼んでいました。その後、「馬関」に「田」の字を加えて、「馬関田」と呼ば

れるようになりました。

室町時代、北原氏が真幸院の領主になると、領有していた野尻・高原辺りから馬関田までを真幸院と呼ぶようになりました。周辺では最も大きい莊園になりました。馬関田は北原一族の馬関田氏が治めていたので、真幸院に含まれていました。

三町合併の前、えびの市は、真幸町、加久藤町、飯野町に分かれていました。当時の真幸町は、馬関田地区と吉田地区（向江、水流、岡松、内堅、昌明寺、亀沢）を合わせた町でした。合併で真幸町は無くなりましたが、昔から続く真幸という名は、小・中学校や駅などの名前に使われ、今でも地域に引き継がれています。その中でも有名なのが真幸駅です。全国に「幸せ」を表す駅名は、いくつもあります。昔から伝わる名前を使っているのは真幸駅のみです。

「真幸」の文字には長い歴史があります。「真に幸せ」な、誠に縁起の良い地名です。

（文）／えびの市歴史民俗資料館

「人」と「まち」をつなぐ

広報 えびの

平成24年9月20日発行

9